

## 【坐薬の使い方】

- ① 包装からお薬を取り出します。
  - ② おむつを替えるときのような姿勢（両足を持ち上げて）で、坐薬を先のとがった太い方からそっと肛門に差し込みます。
- 坐薬の先を水やサラダ油でぬらすと、比較的痛がらずに挿入することができます。



- 嫌がるときは、ハイハイの姿勢や横になって膝を抱えるような姿勢をとり、坐薬を入れてみてください。

- ③ 挿入して**10～30秒**ほど肛門の入口を押さえてください。

- 手を放したときにお薬が出てしまった場合は、溶けていなければもう一度入れ直してください。溶けて入れにくい場合は新しいものを使用してください。

- お薬を使用した後、油のような排泄物が出ることがあります。それはお薬に含まれている油分ですので心配ありません。

- ※ **坐薬を半分にする場合は**、包装からお薬を取り出す前に消毒したナイフなどを使用して切ってください。



### ※ 注意事項

- 坐薬を挿入したときの刺激で便意をもよおすため、坐薬が出てしまうことがあります。できるだけ排便後に挿入してください。

### ※ 保存方法（お薬によって保存方法が異なります。）

- アンヒバ、ポルタレン：冷所保存
- ダイアップ、ナウゼリン：室温保存  
ただし、夏場は気温が30℃を超えるため、溶けてしまう可能性があります。なので夏場は冷蔵庫での保存をお勧めしています。

- 1年以上たったものは新しいものと取り換えてください。体重が増えるとお薬の量も変化するため、効果がでない可能性があります。定期的に処方してもらいましょう。

## 【坐薬の使い方】

- ① 包装からお薬を取り出します。
  - ② おむつを替えるときのような姿勢（両足を持ち上げて）で、坐薬を先のとがった太い方からそっと肛門に差し込みます。
- 坐薬の先を水やサラダ油でぬらすと、比較的痛がらずに挿入することができます。



- 嫌がるときは、ハイハイの姿勢や横になって膝を抱えるような姿勢をとり、坐薬を入れてみてください。

- ③ 挿入して**10～30秒**ほど肛門の入口を押さえてください。

- 手を放したときにお薬が出てしまった場合は、溶けていなければもう一度入れ直してください。溶けて入れにくい場合は新しいものを使用してください。

- お薬を使用した後、油のような排泄物が出ることがあります。それはお薬に含まれている油分ですので心配ありません。

- ※ **坐薬を半分にする場合は**、包装からお薬を取り出す前に消毒したナイフなどを使用して切ってください。



### ※ 注意事項

- 坐薬を挿入したときの刺激で便意をもよおすため、坐薬が出てしまうことがあります。できるだけ排便後に挿入してください。

### ※ 保存方法（お薬によって保存方法が異なります。）

- アンヒバ、ポルタレン：冷所保存
- ダイアップ、ナウゼリン：室温保存  
ただし、夏場は気温が30℃を超えるため、溶けてしまう可能性があります。なので夏場は冷蔵庫での保存をお勧めしています。

- 1年以上たったものは新しいものと取り換えてください。体重が増えるとお薬の量も変化するため、効果がでない可能性があります。定期的に処方してもらいましょう。

## 【坐薬の使い方】

- ① 包装からお薬を取り出します。
  - ② おむつを替えるときのような姿勢（両足を持ち上げて）で、坐薬を先のとがった太い方からそっと肛門に差し込みます。
- 坐薬の先を水やサラダ油でぬらすと、比較的痛がらずに挿入することができます。



- 嫌がるときは、ハイハイの姿勢や横になって膝を抱えるような姿勢をとり、坐薬を入れてみてください。

- ③ 挿入して**10～30秒**ほど肛門の入口を押さえてください。

- 手を放したときにお薬が出てしまった場合は、溶けていなければもう一度入れ直してください。溶けて入れにくい場合は新しいものを使用してください。

- お薬を使用した後、油のような排泄物が出ることがあります。それはお薬に含まれている油分ですので心配ありません。

- ※ **坐薬を半分にする場合は**、包装からお薬を取り出す前に消毒したナイフなどを使用して切ってください。



### ※ 注意事項

- 坐薬を挿入したときの刺激で便意をもよおすため、坐薬が出てしまうことがあります。できるだけ排便後に挿入してください。

### ※ 保存方法（お薬によって保存方法が異なります。）

- アンヒバ、ポルタレン：冷所保存
- ダイアップ、ナウゼリン：室温保存  
ただし、夏場は気温が30℃を超えるため、溶けてしまう可能性があります。なので夏場は冷蔵庫での保存をお勧めしています。

- 1年以上たったものは新しいものと取り換えてください。体重が増えるとお薬の量も変化するため、効果がでない可能性があります。定期的に処方してもらいましょう。

## 【坐薬の使い方】

- ① 包装からお薬を取り出します。
  - ② おむつを替えるときのような姿勢（両足を持ち上げて）で、坐薬を先のとがった太い方からそっと肛門に差し込みます。
- 坐薬の先を水やサラダ油でぬらすと、比較的痛がらずに挿入することができます。



- 嫌がるときは、ハイハイの姿勢や横になって膝を抱えるような姿勢をとり、坐薬を入れてみてください。

- ③ 挿入して**10～30秒**ほど肛門の入口を押さえてください。

- 手を放したときにお薬が出てしまった場合は、溶けていなければもう一度入れ直してください。溶けて入れにくい場合は新しいものを使用してください。

- お薬を使用した後、油のような排泄物が出ることがあります。それはお薬に含まれている油分ですので心配ありません。

- ※ **坐薬を半分にする場合は**、包装からお薬を取り出す前に消毒したナイフなどを使用して切ってください。



### ※ 注意事項

- 坐薬を挿入したときの刺激で便意をもよおすため、坐薬が出てしまうことがあります。できるだけ排便後に挿入してください。

### ※ 保存方法（お薬によって保存方法が異なります。）

- アンヒバ、ポルタレン：冷所保存
- ダイアップ、ナウゼリン：室温保存  
ただし、夏場は気温が30℃を超えるため、溶けてしまう可能性があります。なので夏場は冷蔵庫での保存をお勧めしています。

- 1年以上たったものは新しいものと取り換えてください。体重が増えるとお薬の量も変化するため、効果がでない可能性があります。定期的に処方してもらいましょう。